

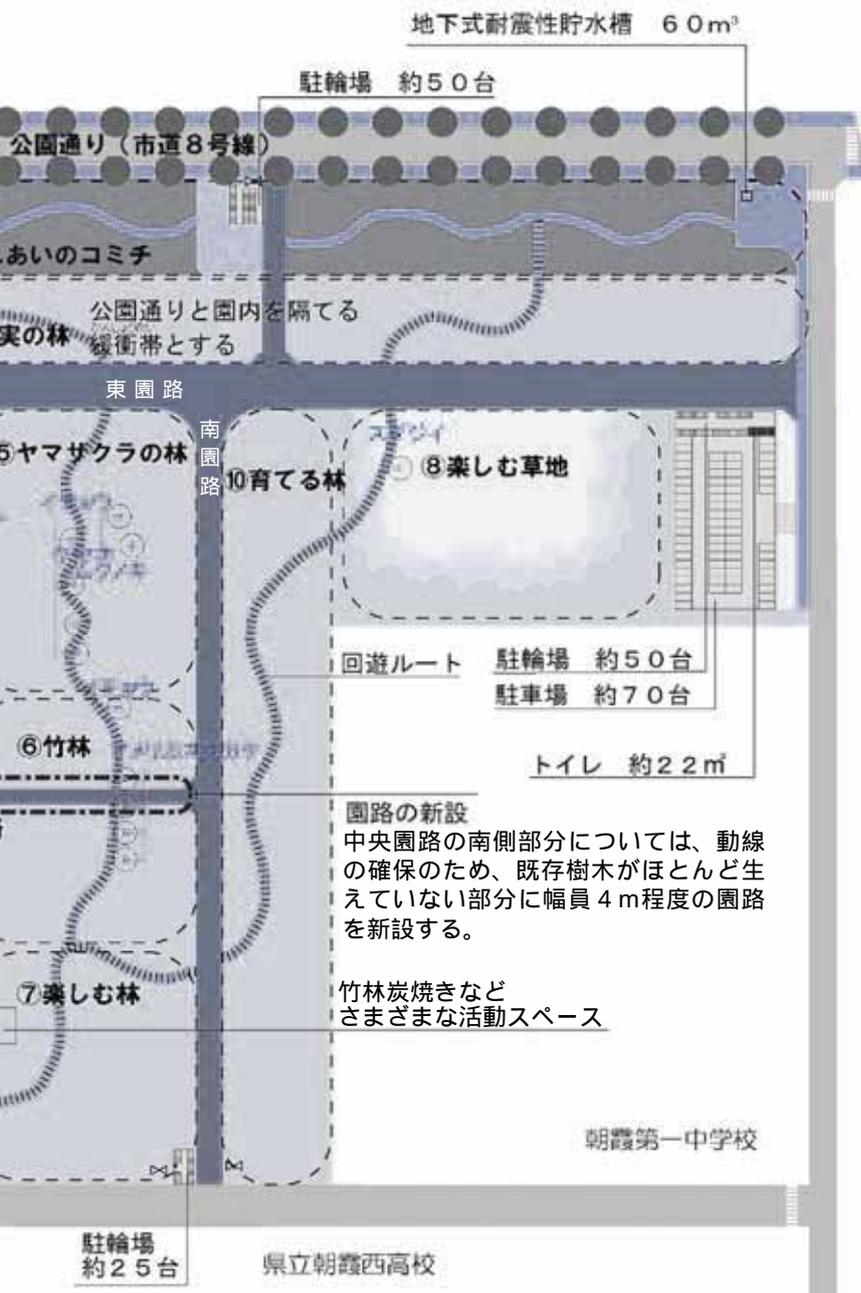
# 基地跡地「公園・シンボルロード」 整備基本計画を策定しました

平成20年5月に策定した「朝霞市基地跡地利用計画書」に基づき、公園やシンボルロードの整備に向けての基本計画を策定しました。基本計画の策定にあたっては、学識経験者3人、市内関係団体の代表者6人、公募による市民2人で構成される「朝霞市基地跡地公園・シンボルロード整備基本計画検討会議」を設置し、平成21年8月に植生調査、平成21年10月と平成22年2月に生態系調査、平成21年10月に現地見学会と意見交換会を行い、さらに平成22年3月には、パブリックコメントを踏まえた市民の皆さんとの意見交換会を行い、検討を進めてきました。

☎/都市計画課 内2512 ☎463-2518

## ●整備の方針●

- ・「現状の自然環境を活かし、必要な手入れを継続的に行うことにより、自然環境や生物の多様性を保全します。」
- ・「憩い・遊び・学ぶことのできる公園にします。」
- ・「自然の中で人々が憩い・遊び・学ぶための多様なゾーンをつくり、それぞれの特性に応じた活動を行う場をつくります。」
- ・「市民と行政が手を取り合い協働で管理運営を行います。」
- ・「市民が使いながら時間をかけて手づくりで成長させていく公園とします。」
- ・「市の中心的な場所に立地する緑の拠点として、市民に愛される魅力あふれる公園を目指します。」



## ●凡例●

### モリゾーン

多様な動植物を育むうっそうとした樹林とします。現在の樹林を保全するため、必要最小限の樹木管理を行います。

■将来的には極相林（植物の移り変わりの最終段階に達した森林）を目指します。

### クサゾーン

多様な動植物を育む縁界部（樹林と草地の境）や草地とします。多様な昆虫が生息し、モリの動物の餌場となります。

■将来的には自然草地を目指します。

### サトゾーン

人と動物が共存する武蔵野の原風景樹林とします。現在の樹林を尊重しつつ、衰退樹木の植え替え管理を定期的に行います。

■将来的には雑木林を目指します。

### コミチゾーン

公園通りの喧騒に対する緩衝帯として機能します。現在の樹林を尊重しつつ衰退樹木の植え替え管理を定期的に行います。

■将来的には快適に歩けるコミチを目指します。

■駐車台数 約120台

■駐輪台数 約350台

☒ 放送施設(防災行政無線受信所)

■ 道路の歩道

■ 園路(管理用車両対応)

■ 園路

■ 広場

■ 園内施設(活動拠点施設)

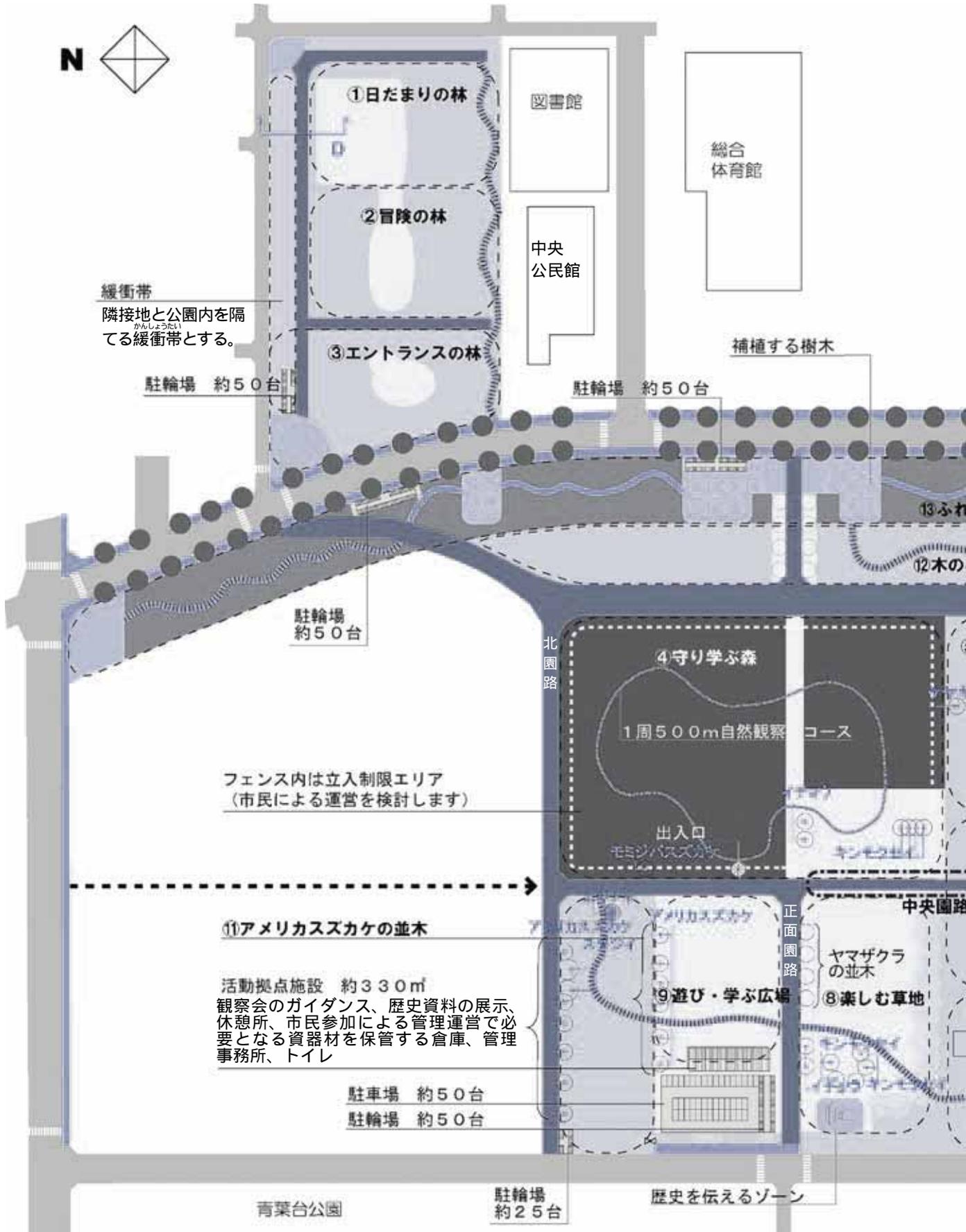
# 公園・シンボルロードのコンセプト

あさかの  
  
 をつくる

遊び・学び・  
 癒される・  
 憩いの

人と自然が  
 共存する

市民が守り  
 育てる



# 公園・シンボルロードのゾーニングの基本的考え方

- ・公園部分については、多様な植生や空間を確保するため、大きく「モリゾーン」、「サトゾーン」、「クサゾーン」の3つを設定します。
- ・シンボルロードについては、既存の樹木を活かした散歩道と、既存の樹木がない部分にイベント等で活用できる広場を整備し、これらを組み合わせた「コミチゾーン」とします。
- ・「モリゾーン」は、現在の樹木を最大限保全するため、既存樹木が比較的まとまっており、周辺部からの影響をなるべく受けにくい公園の中央部に配置し、立ち入りを制限します。
- ・「サトゾーン」は、生態系の連続性に配慮し、「モリゾーン」の周辺に配置するとともに、下草を刈ることで防犯面に配慮し、公園外から中を見通せるよう公園周辺部にも配置します。
- ・「クサゾーン」は、モリやサトの動物の餌となる昆虫類が生息できるよう、縁界部（樹林と草地の境界）や草地を整備するため、比較的高木が少ない場所に配置します。
- ・これらの大きなゾーニングを踏まえ、小ゾーンについては、それぞれの区域の特徴や利活用などの考え方に基づき設定します。

モリゾーン



サトゾーン



クサゾーン



コミチゾーン



## ゾーニング図



# 各ゾーンおよび小ゾーンの説明

ゾーン	小ゾーン	小ゾーンの特徴	主な利活用
サト	①日だまりの林	木漏れ日の落ちる林を演出し、訪れる人々が、ゆったりとくつろいだり、楽しむことができる空間とします。	憩い
	②冒険の林	木々や地面を使って、子どもが主体的に遊びを作るような空間とします。	遊び・学び
	③エントランスの林	下草は必要に応じて刈り取り、人々が自由に移動ができる空間とします。	散策
モリ	④守り学ぶ森	既存の樹林帯のうち、まとまりがある場所について、人の立ち入りを制限し、生き物の生息エリアとします。	観察
サト	⑤ヤマザクラの林	花見や紅葉が楽しめます。枝木をくん製用チップなどにも利用できます。	散策・観賞・採取
	⑥竹林	既存の竹林を保全します。竹林の観賞やお月見など、季節感のあるイベントの開催が期待されます。	散策・観賞・採取
	⑦楽しむ林	炭焼きなど季節に応じた多様な活動を行う舞台となります。市民の積極的な活動が期待されます。	遊び 自然資源を使ったさまざまな活動
クサ	⑧楽しむ草地	自然の草地とします。草地での動植物の観察や、通常は子どもを中心に多様な遊びの場となります。	遊び 自然資源を使ったさまざまな活動
	⑨遊び・学ぶ広場	環境学習などを行う前に、安全管理や自然ガイドなどを行う場となります。	学び
サト	⑩育てる林	武蔵野の雑木林を育てる空間とします。市民が主体となり管理することが期待されます。	植樹・散策
	⑪アメリカスズカケの並木	立派なアメリカスズカケを活かしたシンボリックな並木道を保全します。	散策・観賞
	⑫木の実の林	木の実のなる樹木がある林とします。	散策
コミチ	⑬ふれあいのコミチ※	現在の樹林を活かした、林の中の小道をつくります。公園通りの喧騒に対する緩衝帯としても機能します。	散策

※シンボルロードは、本計画の中では「ふれあいのコミチ」と呼んでいます。

## 公園・シンボルロード計画地

基地跡地公園・シンボルロード計画地案内図



問 都市計画課 内2512  
☎463-2518

問…問い合わせ 内…内線